



令和7年7月16日

生成 AI の利活用に関する研修を開催します —教職員・学生とともに倫理的利用を議論—

情報提供

2025年7月18日（金）、広島大学では教職員および学生を対象に、生成 AI の利活用に関する研修を開催します。

本学ではこれまでも生成 AI に関する FD（“Faculty Development” の略称。教員を対象として実施される研修）を実施しており、2023年5月には東広島キャンパスで教育室主催として初回の研修を開催し、オンラインを含め 221 人が参加しました。今回は教員だけでなく、職員や学生も対象に含めた第 2 回目の開催です。

今回は「生成 AI の概略と論点」「大規模言語モデルから見る生成 AI のしくみ」「生成 AI が電磁気学の単位修得ができるかの検証」などをテーマに、生成 AI の理解を深める内容でした。

近年、文章だけでなく画像や音声も生成可能な生成 AI 技術が急速に普及しています。適切な活用により学修効果や業務効率の向上が期待される一方で、倫理的課題や情報漏洩、研究不正などのリスクも指摘されています。

今回の研修では、生成 AI の研究活動での利活用の現状を共有し、倫理的な課題にも焦点を当てながら、適切な利活用について考える場とすることを目的としています。

開催概要

日時: 2025年7月18日（金）16:20~17:50

会場: 東広島キャンパス フェニックス国際センター MIRAI CREA

多目的スペース ※オンライン配信（同時双方向型）も実施予定

対象: 広島大学教職員及び学生

定員: 対面 60 人

主催: 広島大学教育室

プログラム

- 16:20~16:50 情報提供
「学生の卒業論文・修士論文作成における生成 AI 利用状況調査」について報告します。（情報メディア教育研究センター教授 隅谷 孝洋）
参考 URL（情報メディア教育研究センター Web サイトより）
<https://www2.media.hiroshima-u.ac.jp/public/survey/gaiusage2024/result.html>
- 16:50~17:30 パネルディスカッション
理工系、人社系、医歯薬系の教員 3 人と学生 3 人がパネリストとして登壇し、生成 AI の研究活動での利用をめぐる倫理上の疑問や問題点等につ

いて意見交換を行います。

(ファシリテーター：副理事 (研究倫理担当) 草原 和博)

- 17:30~17:50 フロアディスカッション
生成 AI の研究活動での利用をめぐる倫理上の疑問や問題点等について、会場およびオンライン参加者との意見交換を行います。

※当日取材をご希望のメディアの方は、7月17日(木)17時まで下記お問い合わせ先までご連絡ください。

<第1回 FD 実施内容>

- 日時: 2023年5月16日(火) 16:20~17:50
- プログラム: 講演(各15分)
講演1「生成 AI と大学教育—この便利で厄介な代物とどう向き合うか」
講演2「生成 AI の仕組み—大規模言語モデルと ChatGPT を中心に—」
講演3「生成 AI の実力 —GPT-4 は電磁気学の単位をとれるか—」
講演4「言語教育分野における ChatGPT の可能性とその留意点」

<取材について>

- 全てのプログラムについての傍聴が可能です。(研修終了後、主催者、報告者およびファシリテーターへのインタビュー可)
- 記者席は会場後方にご用意いたします。
- お車でお越しの際は、有人ゲート(ゲート1)からお入りいただき、構内の駐車場をご利用ください。

【お問い合わせ先】

広島大学教育室教育部教育推進グループ 中村
E-mail: gsyugaku-gl@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数: A4版 2枚(本票含む)